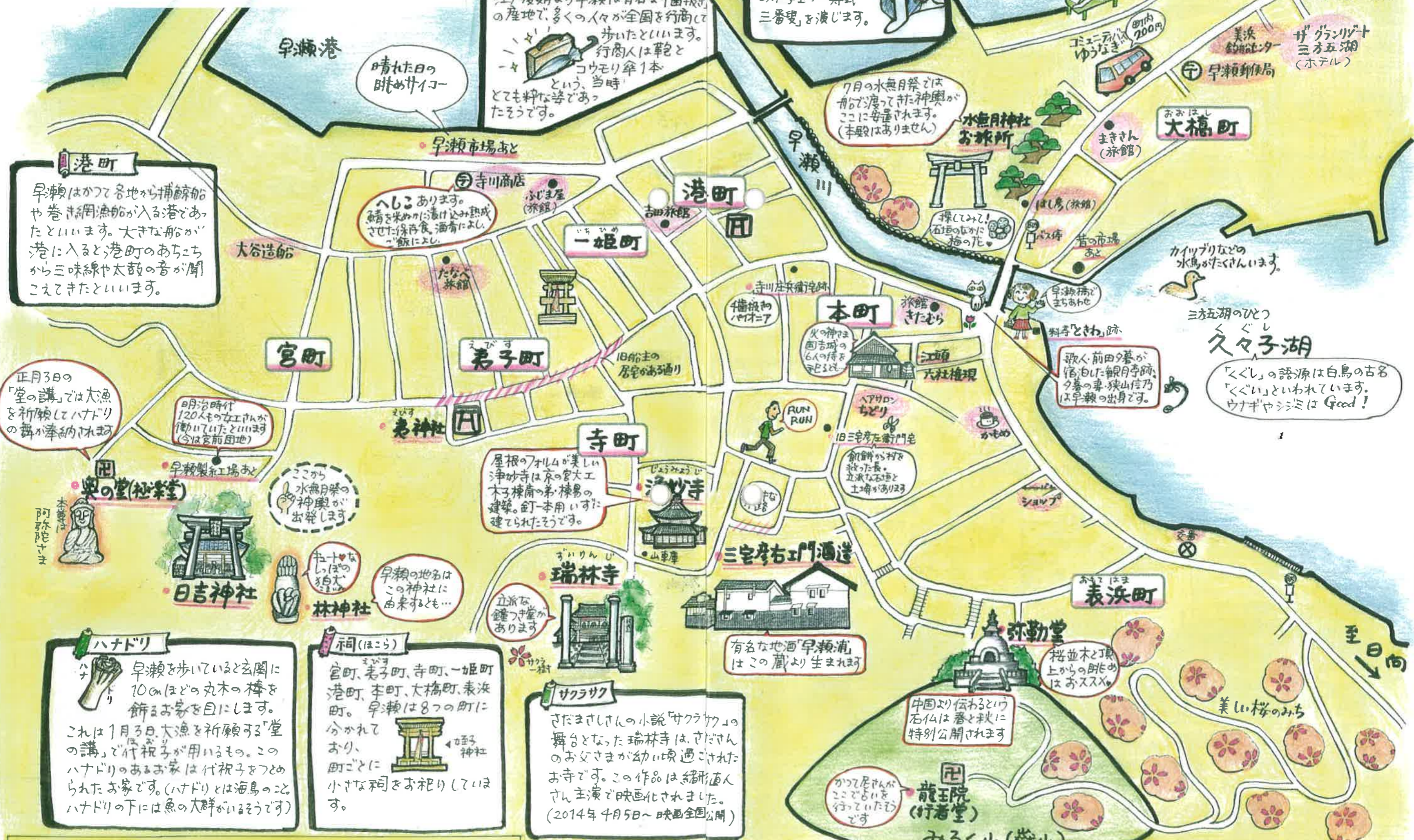


手作りマップ

# 早瀬の里ぶらりマップ

海と湖が交差する「早瀬」。かつて商工業も盛んであった港町の面影をいまも町並みの中にとどめています。



**子ども歌舞伎**  
 毎年5月5日(子どもの日)に行われる日吉神社例大祭では、地区内を巡行する史山を舞台に、地区の小学生が「寿式三番叟」を演じます。

**千歯扱桶人**  
 江戸後期より早瀬は有名な千歯扱桶の産地で、多くの人が全国を行商して歩いたといひます。行商人は草鞋とコウモリ傘1本という、当時とても粋な姿であったそうです。

**港町**  
 早瀬はかつて各地から捕鯨船や巻き網漁船が入る港であったといひます。大きな船が港に入ると、港町のあちこちから三味線や太鼓の音が聞こえてきたといひます。

正月3日の「堂の講」では大魚を祈願してハナドリが奉納されます。

明治時代120人もの女工さんが働いていたといひます(今は宮前団地)

ここから水無月祭の神輿が出発します

早瀬の地名はこの神社に由来するとも...

屋根のフォルムが美しい浄妙寺は京の宮大工木子棟唐の弟棟易の建築。釘一本用いずに建てられたそうです。

火の神(国吉城の6人の侍を祀る)

創設の村を築いた長。立派な石垣と土塀があります

有名な地酒「早瀬浦」はこの蔵より生まれる

**ハナドリ**  
 早瀬を歩いていると玄関に10cmほどの丸木の棒を飾るお家を目にします。これは1月3日大魚を祈願する「堂の講」で代祝子が用いるもの。このハナドリのあるお家は代祝子をつとめられたお家です。(ハナドリとは海鳥のこと。ハナドリの下には魚の大群が泳いでいるそうです)

**祠(ほこら)**  
 宮町、表子町、寺町、一畑町、港町、本町、大橋町、表浜町。早瀬は8つの町に分かれており、町ごとに小さな祠をお祀りしています。

**サクラサク**  
 さだまさし氏の小説「サクラサク」の舞台となった瑞林寺は、さださんのお父さまが幼少頃通ったお寺です。この作品は緒形直人さん主演で映画化されました。(2014年4月5日～映画全国公開)

7月の水無月祭では舟が渡って水無月神社がここに安置されます。(本殿はありません)

探してみ! 石垣の間に梅の花

歌人前田夕暮が宿白した観音寺跡。夕暮の妻・狭山信乃は早瀬の出身です。

久々子湖  
 「くぐし」の語源は白鳥の古名「くぐい」といわれています。ウナギやシジミは Good!

中国より伝わるという石仏は春と秋に特別公開されます

かつて尾崎さんがここに古いを行っていたそうです

桜並木と頂上からの眺めはオススメ

美しい桜のみち

早瀬の偉人の碑が並びます。

美浜釣船ターミナル

早瀬郵便局

まきさん(旅館)

大橋町

おぼし

昔の市場

早瀬橋とまちあわせ

料亭とわ、跡

かきめ

シャブ

表浜町

弥勒堂

龍王院(行者堂)

みろく山(巖山)

至美浜駅

ガランドホテル

三才五湖(ホテル)

カイツブリなどの水鳥がたくさんいます。

三才五湖のひとつ

カイツブリなどの水鳥がたくさんいます。

カイツブリなどの水鳥がたくさんいます。

カイツブリなどの水鳥がたくさんいます。

カイツブリなどの水鳥がたくさんいます。

カイツブリなどの水鳥がたくさんいます。

カイツブリなどの水鳥がたくさんいます。

カイツブリなどの水鳥がたくさんいます。

カイツブリなどの水鳥がたくさんいます。

カイツブリなどの水鳥がたくさんいます。

カイツブリなどの水鳥がたくさんいます。